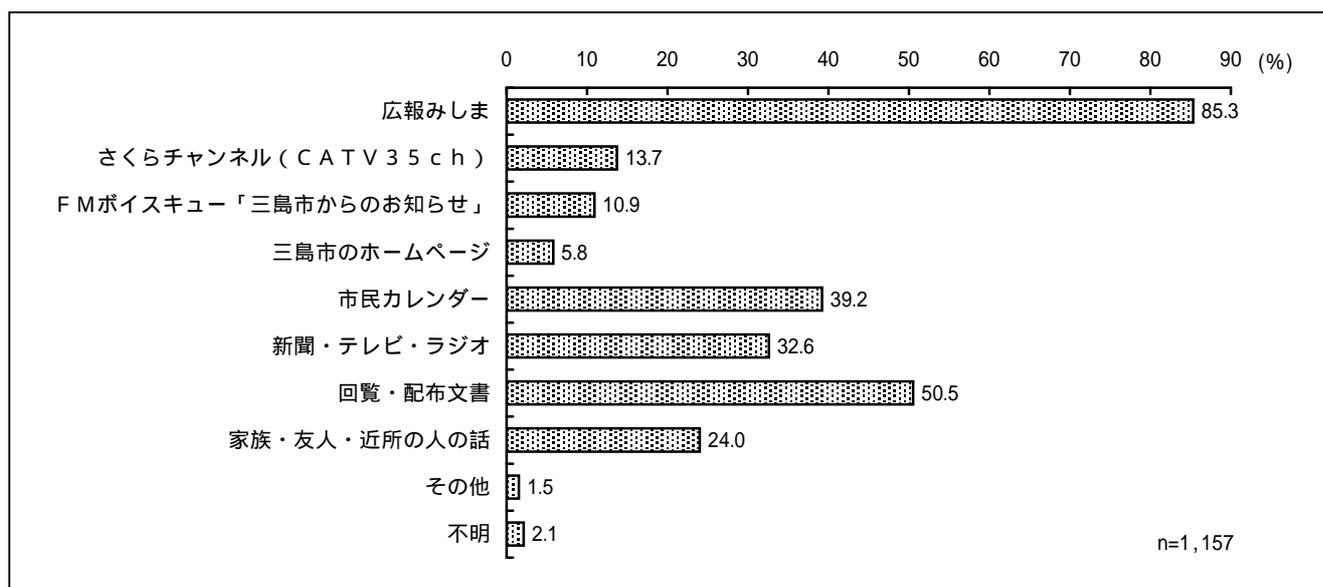


1 市政の動きや行事・イベントなどの認知経路

問8 あなたは、市政の動きや行事・イベントなどを何によって知りますか。主なものをすべて選んでをつけてください。(はいいくつでも)

「広報みしま」で市政の動きや行事・イベントなどを認知する人が8割以上



市政の動きや行事・イベントなどを何によって知るかを聞いたところ、「広報みしま」が85.3%で最も高く、次いで「回覧・配布文書」の50.5%、「市民カレンダー」の39.2%、「新聞・テレビ・ラジオ」の32.6%、「家族・友人・近所の人のお話」の24.0%などとなっている。なお、「三島市のホームページ」で知るといふ人は5.8%と少ない。

【属性別】

		n	広報みしま	ATV35ch) さくらチャンネル(C)	FMボイスキュー「三島市からのお知らせ」	三島市のホームページ	市民カレンダー	新聞・テレビ・ラジオ	回覧・配布文書	家族・友人・近所の人	その他	不明
全体		1,157	85.3	13.7	10.9	5.8	39.2	32.6	50.5	24	1.5	2.1
性別	男性	791	85.7	14.9	13.4	6.2	39.6	33.1	51.2	20.7	1.4	1.5
	女性	276	86.2	12.3	5.4	5.4	38.8	31.2	51.4	33.3	1.8	2.2
年代	20代	128	61.7	10.2	6.3	4.7	15.6	27.3	21.9	35.9	2.3	3.9
	30代	153	80.4	13.7	6.5	9.2	25.5	24.2	33.3	26.8	3.9	2.0
	40代	173	86.1	9.8	17.3	5.8	27.2	26.0	56.6	26.0	1.7	2.9
	50代	203	90.1	8.9	17.7	7.9	42.9	28.1	52.7	17.7	0.0	1.0
	60代	245	91.4	18.0	10.6	3.7	49.4	38.0	61.6	19.6	0.8	0.4
	70代以上	247	90.7	18.2	6.5	4.9	55.5	44.5	58.7	24.7	1.2	2.4
地区	旧市内	348	83.3	11.5	10.1	4.9	37.9	28.7	47.1	27.3	1.4	2.6
	北上地区	262	89.3	16.0	11.5	6.9	40.5	33.6	55.0	22.9	1.1	1.9
	錦田地区	227	86.8	13.2	11.5	4.8	42.3	37.9	47.1	20.3	0.9	2.2
	中郷地区	266	85.7	15.8	12.4	7.1	38.3	33.5	54.9	24.8	1.9	0.4

■ : 1位 ■ : 2位 ■ : 3位

【性別】

性別でみると、「広報みしま」で知る人は男性が85.7%、女性が86.2%となっている。なお、「FMボイスキュー「三島市からのお知らせ」」で知る人は男性が13.4%、女性の5.4%より8ポイントも高い。

【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるほど「広報みしま」で知る割合も高くなり、20代が6割強、30～40代が8割台、そして50代以上は9割強となっている。「広報みしま」以外では、70代以上が「市民カレンダー」、40代以上が「回覧・配布文書」で知るといふ人が5割以上である。

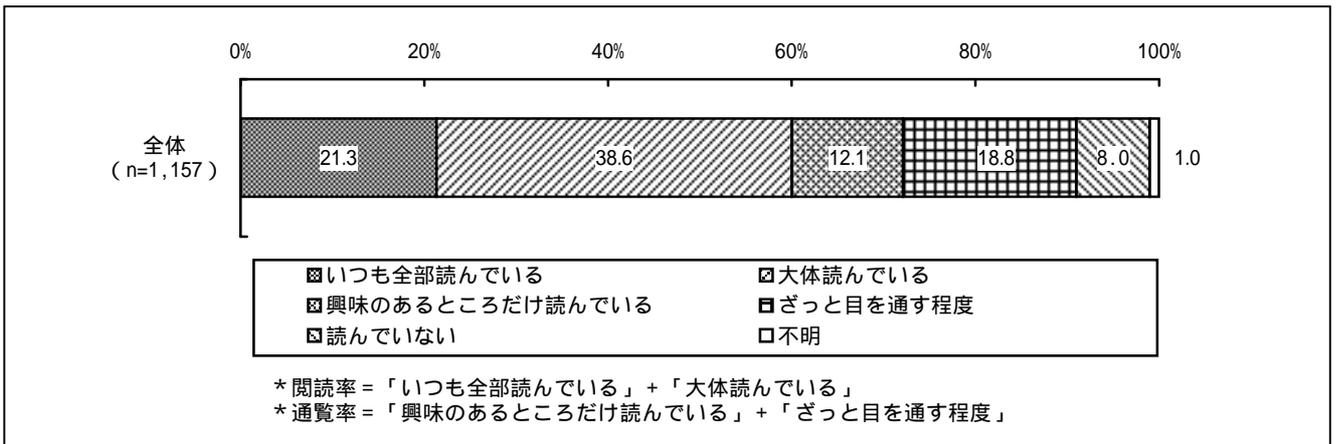
【地区別】

地区別にみると、「広報みしま」で知る人は旧市内が83.3%、北上地区が89.3%、錦田地区が86.8%、中郷地区が85.7%となっている。「広報みしま」以外では、北上地区と中郷地区で「回覧・配布文書」も5割を超えている。

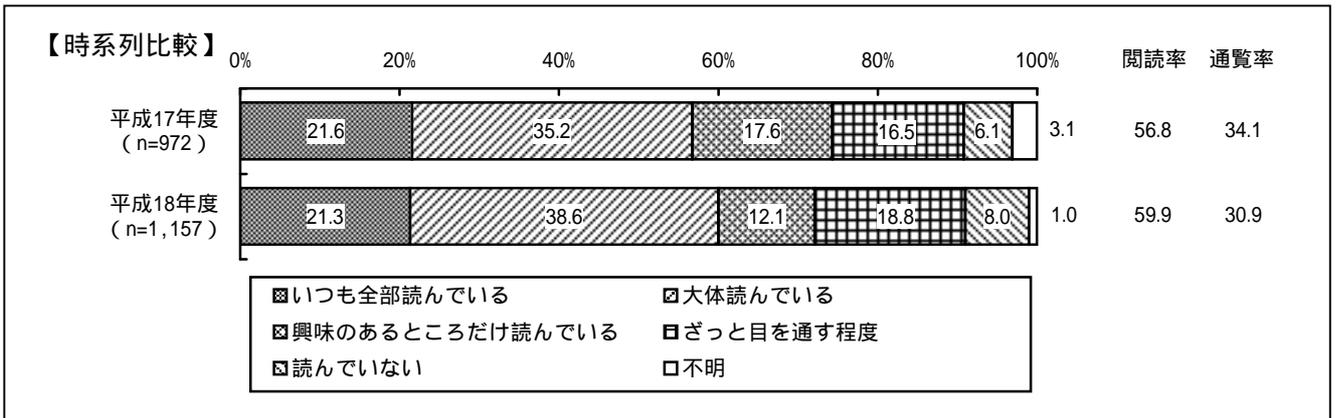
2 「広報みしま」の閲読状況

問9 三島市では、毎月1日と15日に「広報みしま」を発行していますが、あなたは読んでいますか。下の1～5の中から1つだけ選んで をつけてください。(は1つ)

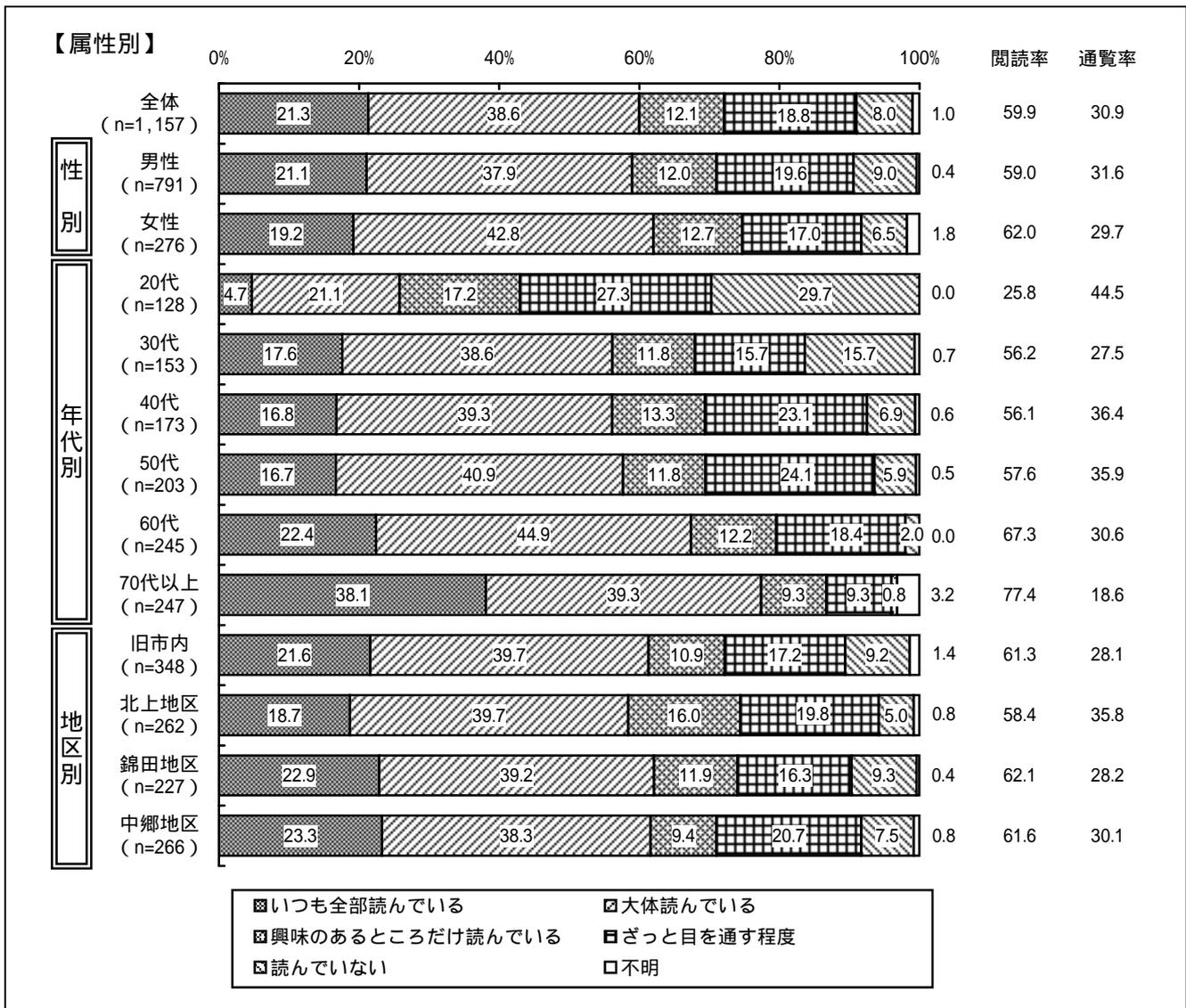
「広報みしま」の閲読率は59.9%、通覧率は30.9%



「広報みしま」を読んでいるかを聞いたところ、「いつも全部読んでいる」が21.3%、「大体読んでいる」が38.6%、「いつも全部読んでいる」と「大体読んでいる」を合わせた閲読率は59.9%、そして「興味のあるところだけ読んでいる」(12.1%)と「ざっと目を通す程度」(18.8%)を合わせた通覧率は30.9%となっている。一方、「読んでいない」という人は8.0%と少数である。



前年度の調査と比較すると、「大体読んでいる」という人が35.2%から38.6%に増加したことで、「いつも全部読んでいる」を合わせた閲読率も56.8%から59.9%に増加している。一方、「読んでいない」という人も6.1%から8.0%へと増加している。



【性別】

性別でみると、女性は「大体読んでいる」人が42.8%と高いことから、閲読率は62.0%となり、男性の59.0%より3ポイント高い。

【年代別】

年代別にみると、年代が高くなるほど閲読率も高くなり、20代では25.8%と低いが、60代以上では「いつも全部読んでいる」人のみでも2割以上と高く、「大体読んでいる」も合わせた閲読率はこの年代では6割を超える。一方、20代ではほぼ3割の人が「読んでいない」という結果であった。

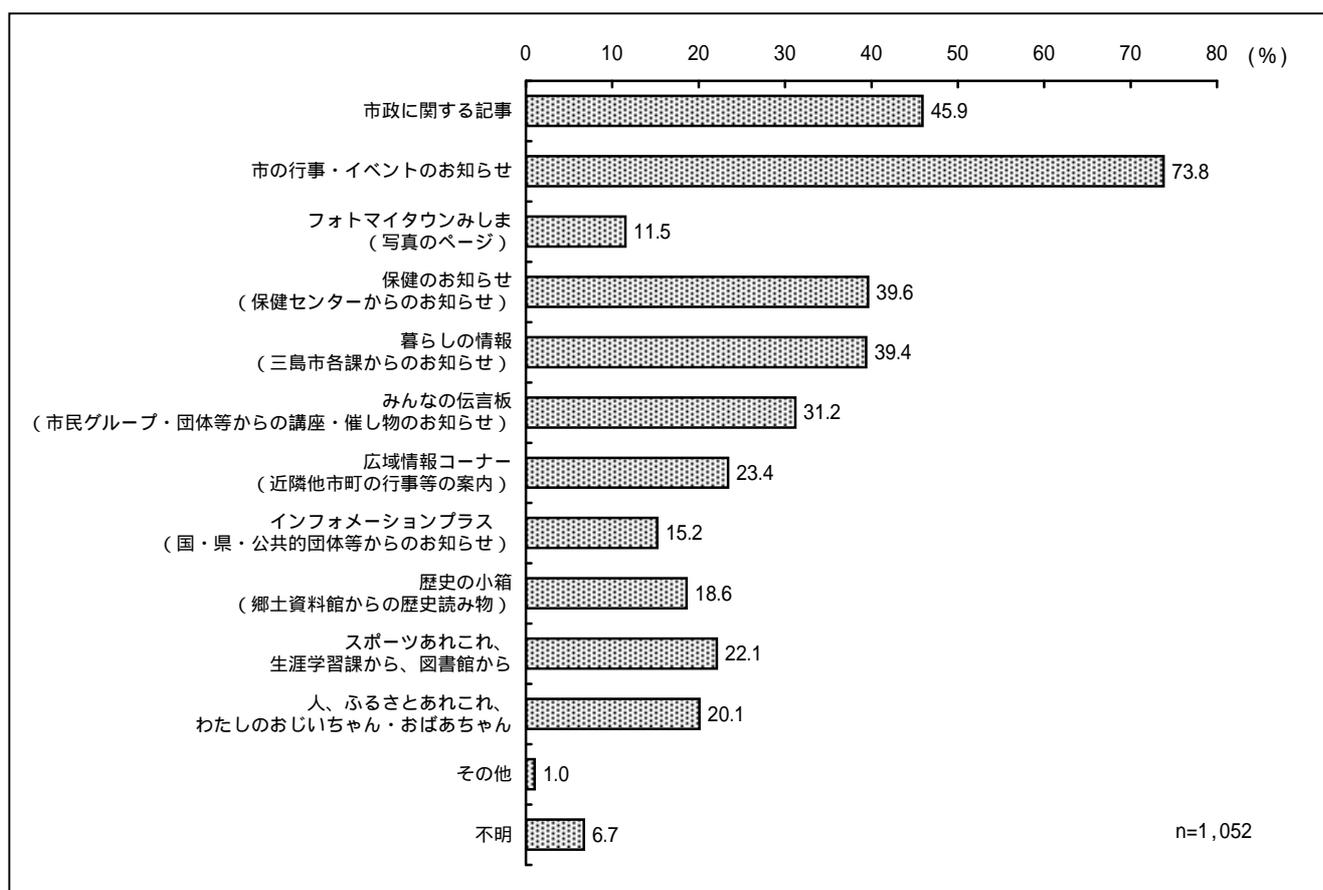
【地区別】

地区別にみると、すべての地区で「大体読んでいる」人が4割弱であり、「いつも全部読んでいる」も合わせた閲読率は旧市内と錦田地区と中郷地区で6割を超えている。

3 「広報みしま」で関心のあるコーナー

【問9で「1 いつも全部読んでいる」～「4 ざっと目を通す程度」に つけた方にお伺いします。】
 問10 「広報みしま」を読んでいる方にお聞きします。特に関心を持って読むコーナーはどれですか。該当するものすべてに つけてください。（ はいくつでも）

「市の行事・イベントのお知らせ」には7割以上が関心あり



「広報みしま」の読者・通覧者に対し、関心を持って読むコーナーは何かを聞いたところ、「市の行事・イベントのお知らせ」が73.8%で最も高く、次いで「市政に関する記事」が45.9%、「保健のお知らせ（保健センターからのお知らせ）」が39.6%、「暮らしの情報（三島市各課からのお知らせ）」が39.4%などとなっている。

【属性別】		(%)													
		n	市政に関する記事	市の行事・イベントのお知らせ	フォトマイタウンみしま(写真のページ)	保健のお知らせ(保健センターからのお知らせ)	暮らしの情報(三島市各課からのお知らせ)	みんなの伝言板(市民グループ・団体等からの講座・催し物のお知らせ)	広域情報コーナー(近隣他市町の行事等の案内)	インフォメーションプラス(国・県・公共的団体等からのお知らせ)	歴史の小箱(郷土資料館からの歴史読み物)	スポーツあれこれ、生涯学習から、図書館から	人、ふるさとあれこれ、わたしの思い出ちゃん・おばあちゃん	その他	不明
全体		1,052	45.9	73.8	11.5	39.6	39.4	31.2	23.4	15.2	18.6	22.1	20.1	1	6.7
性別	男性	717	52.0	75.0	12.4	35.4	39.6	28.2	22.0	15.6	19.4	20.6	18.1	1.1	6.1
	女性	253	28.1	74.7	10.3	52.6	42.3	43.1	28.5	16.6	16.6	27.3	25.7	0.8	6.7
年代	20代	90	14.4	61.1	16.7	34.4	18.9	24.4	26.7	10.0	7.8	23.3	16.7	0.0	7.8
	30代	128	28.1	81.3	11.7	40.6	47.7	32.0	25.0	11.7	10.2	27.3	10.9	1.6	2.3
	40代	160	39.4	76.9	9.4	28.1	38.8	34.4	25.6	13.8	13.1	27.5	18.1	1.3	4.4
	50代	190	43.2	73.2	10.5	31.1	36.8	28.9	18.9	16.8	18.9	17.4	20.5	1.1	8.4
	60代	240	54.6	76.3	11.3	45.0	41.7	34.6	22.5	15.8	23.8	22.5	24.6	0.4	5.8
	70代以上	237	66.2	70.9	12.2	51.1	43.9	28.7	24.5	18.6	26.2	18.6	22.4	1.3	9.3
地区	旧市内	311	45.3	74.6	12.2	38.3	37.3	31.5	21.5	15.1	20.3	24.8	20.3	0.6	7.1
	北上地区	247	42.1	77.7	11.3	43.7	42.9	34.8	27.1	15.8	17.4	23.9	25.5	1.6	3.6
	錦田地区	205	49.8	75.6	9.3	39.0	42.0	26.8	27.3	14.6	14.6	16.6	13.7	1.0	7.3
	中郷地区	244	49.2	69.3	13.9	37.7	37.7	30.7	19.3	16.0	20.9	23.4	21.3	0.8	8.2

: 1位
 : 2位
 : 3位

【性別】

性別でみると、男女ともに「市の行事・イベントのお知らせ」に対する関心は7割以上と高いが、その他のコーナーで5割を超えるのは、男性が「市政に関する記事」(52.0%)、女性が「保健のお知らせ(保健センターからのお知らせ)」(52.6%)のみである。

【年代別】

年代別にみても、すべての年代で「市の行事・イベントのお知らせ」に対する関心度は高く、30代以上では7割を超えており、最も低い20代でも6割台となっている。その他のコーナーでは、70代以上で「保健のお知らせ(保健センターからのお知らせ)」、60代以上で「市政に関する記事」が5割を超える。

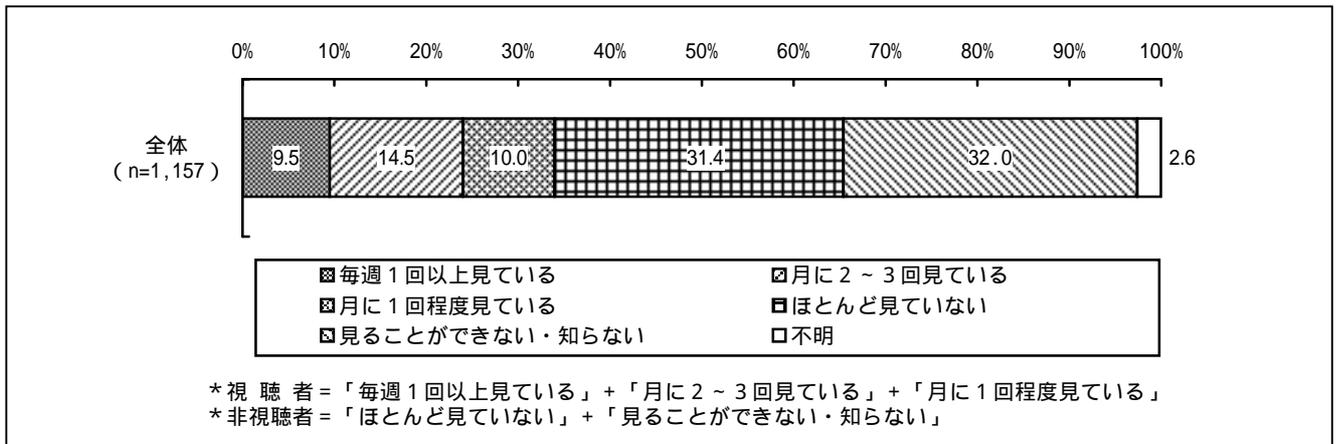
【地区別】

地区別においても、「市の行事・イベントのお知らせ」に対する関心はすべての地区で高く、中郷地区以外は7割を超えている。その他のコーナーで、5割を超えているものは皆無となっている。

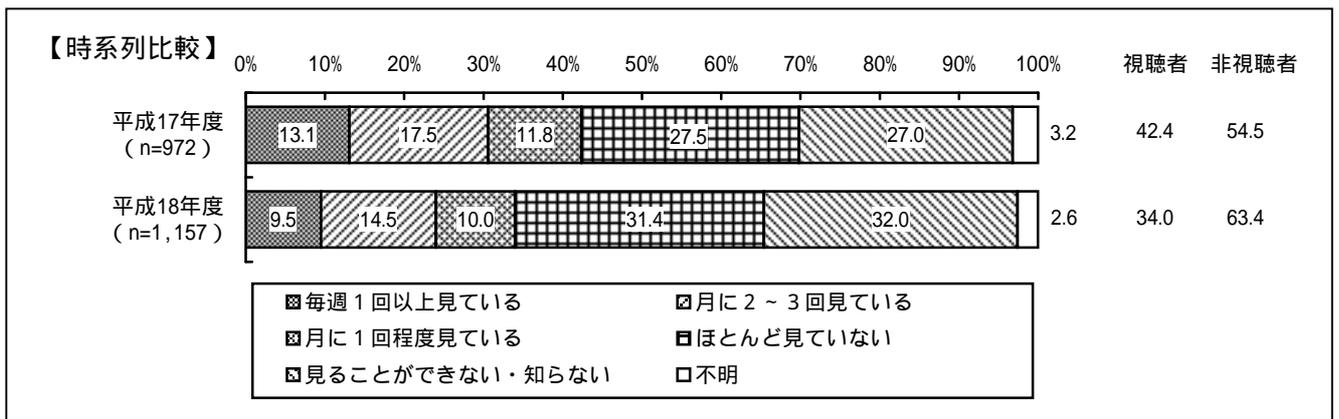
4 さくらチャンネルの視聴状況

問11 三島市では、さくらチャンネル(CATV35ch)で三島市からの広報番組を放送していますが、あなたは見えていますか。下の1～5の中から1つだけ選んで をつけてください。
(は1つ)

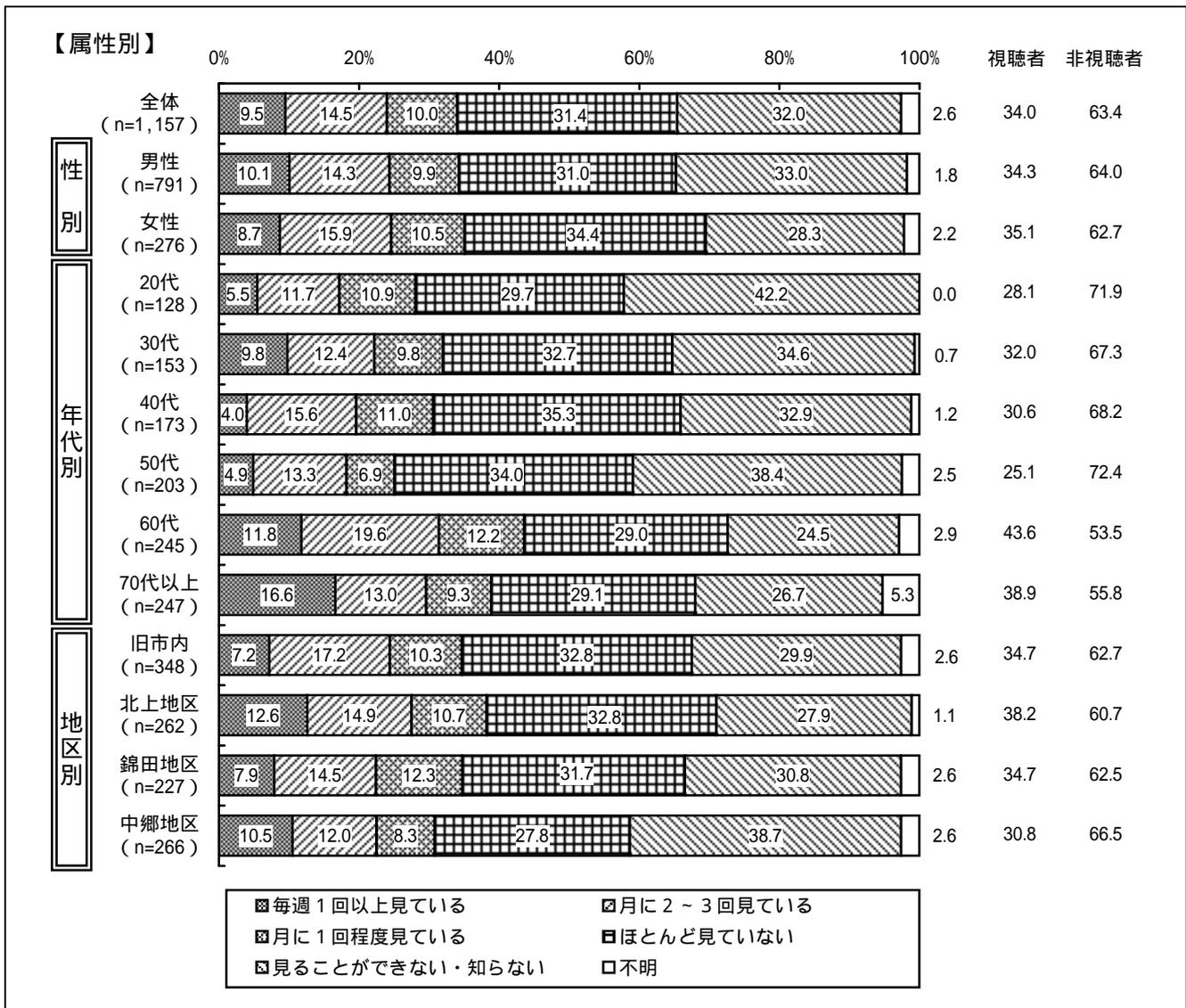
さくらチャンネルを「月に1回以上」視聴している人は34.0%



さくらチャンネル(CATV35ch)で広報番組を見ているかを聞いたところ、「毎週1回以上見ている」人が9.5%、「月に2～3回見ている」人が14.5%、「月に1回程度見ている」人が10.0%、「月に1回以上見ている」視聴者は34.0%となっている。一方、「ほとんど見ていない」(31.4%)と「見るのができない・知らない」(32.0%)を合わせた非視聴者は63.4%である。



前年度の調査と比較すると、「毎週1回以上見ている」が13.1%から9.5%、「月に2～3回見ている」が17.5%から14.5%、「月に1回程度見ている」が11.8%から10.0%に減少、「月に1回以上見ている」視聴者は42.4%から34.0%へと8.4ポイントも減少している。



【性別】

性別でみると、「月に1回以上見ている」視聴者は男性が34.3%、女性が35.1%、一方、非視聴者は男性が64.0%、女性が62.7%となっている。

【年代別】

年代別にみると、60代のみが「月に1回以上見ている」視聴者が4割を超えているが、他の年代は3割台以下であり、中でも20代と50代は2割台と低い。なお、「毎週1回以上見ている」人は70代以上が16.6%と高い。一方、非視聴者はすべての年代で5割以上であり、中でも20代と50代は7割を超えている。

【地区別】

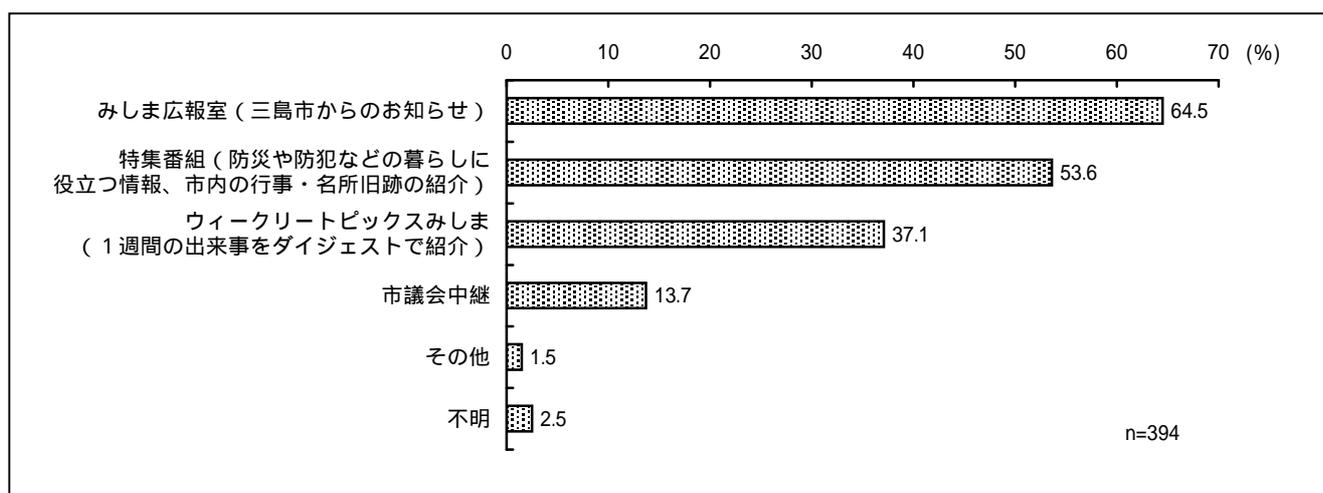
地区別にみると、すべての地区で「月に1回以上見ている」視聴者が3割台であり、「毎週1回以上見ている」人に限定すると、北上地区と中郷地区が1割を超え、他の地区より高い。

5 さくらチャンネルで関心のあるコーナー

【問11で「1 毎週1回以上見ている」「2 月に2~3回見ている」「3 月に1回程度見ている」とお答えした方にお伺いします。】

問12 さくらチャンネル（CATV35ch）を見ている方にお聞きします。特に関心を持って見ているコーナーはどれですか。該当するものすべてにをつけてください。（はいくつでも）

「みしま広報室（三島市からのお知らせ）」には6割以上が関心あり



さくらチャンネル(CATV35ch)の視聴者に対し、関心を持って見るコーナーは何かを聞いたところ、「みしま広報室（三島市からのお知らせ）」が64.5%で最も高く、次いで「特集番組（防災や防犯などの暮らしに役立つ情報、市内の行事・名所旧跡の紹介）」の53.6%などとなっている。

【属性別】		(%)							
		n	ら み し ま 広 報 室 (三 島 市 か ら の お 知 ら せ)	跡 報 の 紹 介 (市 内 の 行 事 ・ 名 所 旧 跡)	特 集 番 組 (防 災 や 防 犯 な ど の 暮 ら し に 役 立 つ 情 報)	を み し ま の ウ イ ー ク リ ー ト ビ ジ ネ ッ ス を ダ イ ジ エ ス ト で 紹 介 (1 週 間 の 出 来 事)	市 議 会 中 継	そ の 他	不 明
全体		394	64.5	53.6	37.1	13.7	1.5	2.5	
性別	男性	271	62.7	57.6	34.3	16.2	1.1	1.8	
	女性	97	66.0	46.4	45.4	8.2	2.1	5.2	
年代	20代	36	55.6	33.3	44.4	5.6	0.0	0.0	
	30代	49	59.2	36.7	51.0	2.0	6.1	4.1	
	40代	53	58.5	34.0	45.3	3.8	0.0	1.9	
	50代	51	49.0	68.6	39.2	7.8	0.0	0.0	
	60代	107	70.1	62.6	30.8	15.0	1.9	4.7	
	70代以上	96	76.0	62.5	29.2	30.2	1.0	1.0	
地区	旧市内	121	67.8	53.7	34.7	14.9	0.0	2.5	
	北上地区	100	65.0	60.0	38.0	8.0	3.0	2.0	
	錦田地区	79	59.5	50.6	35.4	11.4	1.3	2.5	
	中郷地区	82	62.2	46.3	45.1	18.3	2.4	2.4	

: 1位
 : 2位
 : 3位

【性別】

性別でみると、「みしま広報室（三島市からのお知らせ）」の関心度は男女ともに6割台と高く、その他のコーナーでは、男性が「特集番組（防災や防犯などの暮らしに役立つ情報、市内の行事・名所旧跡の紹介）」が57.6%で、女性の46.4%より11.2ポイントも高い。

【年代別】

年代別にみると、50代以外の年代は「みしま広報室（三島市からのお知らせ）」の関心度が最も高く、5割を超えているが、50代は「特集番組（防災や防犯などの暮らしに役立つ情報、市内の行事・名所旧跡の紹介）」が68.6%で、「みしま広報室（三島市からのお知らせ）」の49.0%を上回っている。

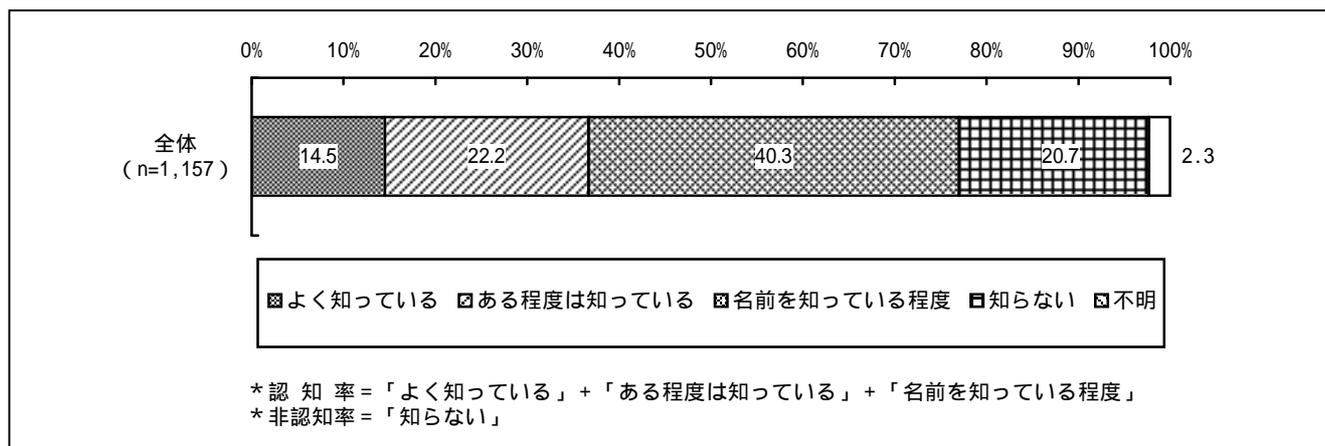
【地区別】

地区別にみても、「みしま広報室（三島市からのお知らせ）」の関心度はすべての地区で高く、中でも旧市内が67.8%と高い。また、北上地区は「特集番組（防災や防犯などの暮らしに役立つ情報、市内の行事・名所旧跡の紹介）」も60.0%という高い関心度である。

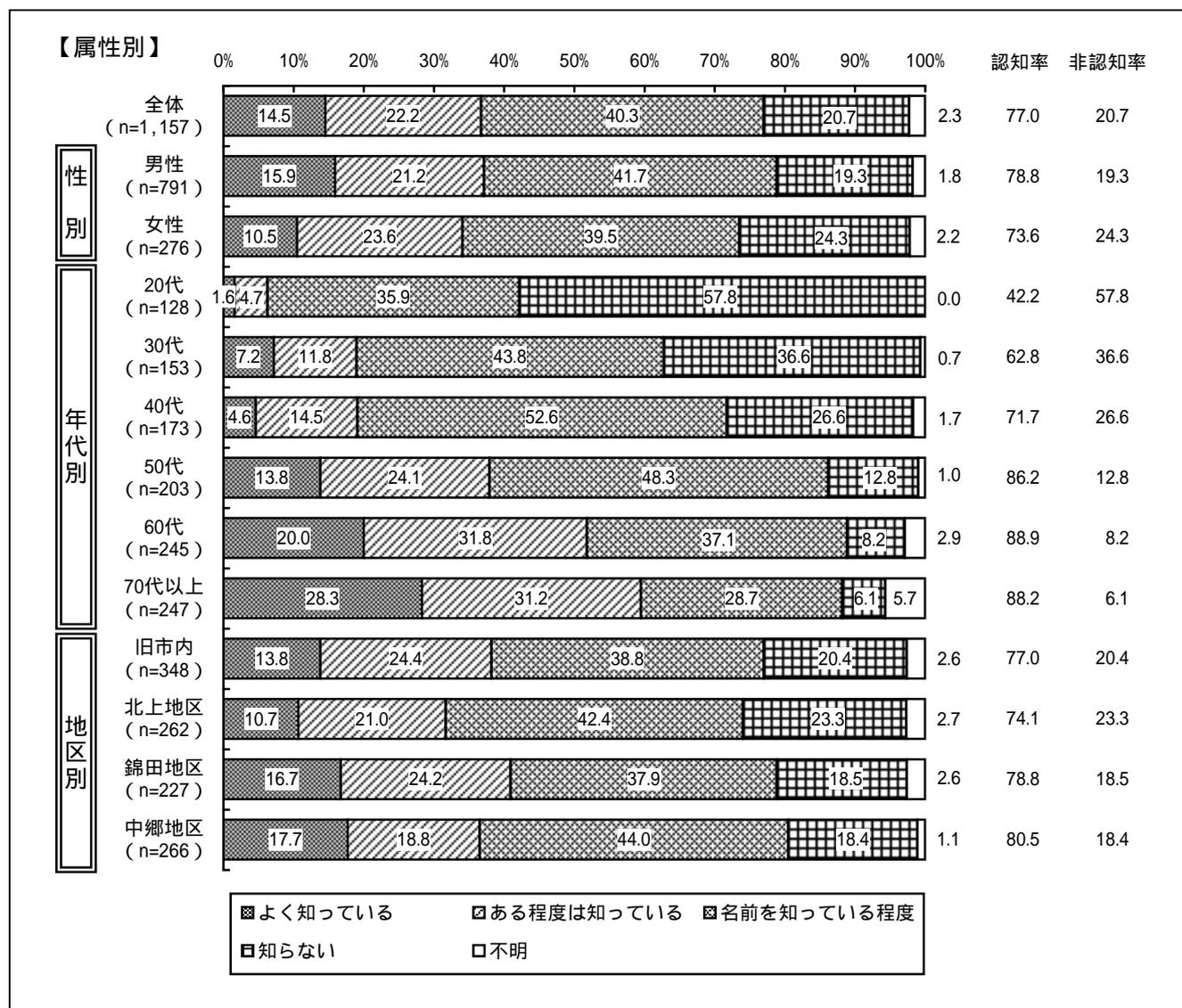
6 『市民相談室』の認知状況

問13 市では、専門家や職員による様々な無料相談を行う『市民相談室』がありますが、あなたは市民相談室があることをご存知でしたか。（ は1つ）

『市民相談室』の存在を知っている人は77.0%



市が無料相談を行う『市民相談室』があることを知っているかを聞いたところ、「よく知っている」人が14.5%、「ある程度は知っている」人が22.2%、「名前を知っている程度」の人が40.3%、レベルに差はあるものの、認知度としては77.0%となっている。一方、「知らない」という非認知者は20.7%という結果であった。



【性別】

性別でみると、『市民相談室』の認知率は男性が78.8%、女性が73.6%で男性のほうが高く、「よく知っている」人に限定しても男性が15.9%、女性が10.5%で男性が5.4ポイント高い。

【年代別】

年代別にみると、『市民相談室』の認知率は年代によって大きな開きがあり、20代では42.2%と5割を下回っているのに対し、50代以上では8割を超えており、中でも60代以上は「よく知っている」人のみでも2割を超えている。

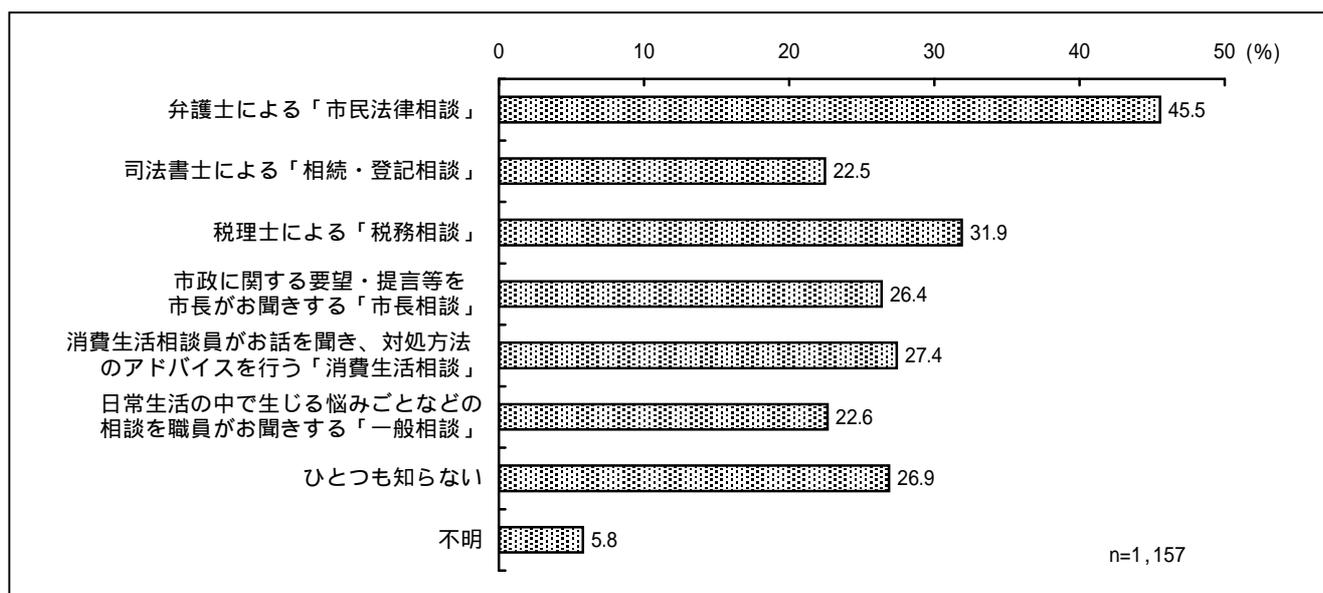
【地区別】

地区別にみると、『市民相談室』の認知率は北上地区が74.1%とやや低いものの、他の地区では8割前後であり、4地区の中では中郷地区が80.5%で最も高い。

7 『市民相談室』の相談サービスの認知状況

問14 市民相談室では主に下記のような相談サービスを行っております。あなたをご存知のものをすべてお答えください。(はいいくつでも)

「弁護士による「市民法律相談」」の認知度が45.5%でトップ



市民相談室で行なっている相談サービスで、知っているものを聞いたところ、「弁護士による「市民法律相談」」が45.5%で最も高く、次いで「税理士による「税務相談」」の31.9%、この2つの相談サービスの認知度が3割を上回った。なお、「ひとつも知らない」という人は26.9%、問13の質問で市民相談室自体を「知らない」人が20.7%であることから、存在を知っていても相談サービスの内容を知らない人は全体の6.3%ということになる。

【属性別】		(%)								
		n	弁護士による「市民法律相談」	司法書士による「相続・登記相談」	税理士による「税務相談」	市長に関する要望・提言を市長にお聞きする「市長相談」	消費生活相談員がお話を聞き、対処方法のアドバイスを行う「消費生活相談」	日常生活の中で生じる悩みをお聞きする「一般相談」	ひとつも知らない	不明
全体		1,157	45.5	22.5	31.9	26.4	27.4	22.6	26.9	5.8
性別	男性	791	47.3	23.8	33.5	27.4	27.2	21.2	26.8	4.9
	女性	276	41.7	20.3	27.9	24.3	30.1	26.1	28.3	5.4
年代	20代	128	13.3	7.0	4.7	5.5	16.4	12.5	64.8	2.3
	30代	153	36.6	13.1	22.2	15.7	24.8	18.3	45.1	2.6
	40代	173	43.9	20.2	32.4	17.9	23.7	16.8	32.9	3.5
	50代	203	51.2	22.2	39.9	28.1	33.5	25.1	20.7	3.0
	60代	245	55.5	31.0	43.3	39.6	35.1	28.6	13.5	6.1
	70代以上	247	54.7	30.0	34.4	35.6	25.1	27.1	10.1	12.6
地区	旧市内	348	46.0	18.7	28.2	24.7	27.6	23.3	23.9	6.3
	北上地区	262	42.4	20.6	35.1	29.8	27.5	18.3	30.9	4.6
	錦田地区	227	49.3	25.6	33.5	27.3	28.6	25.1	25.6	5.3
	中郷地区	266	45.5	27.1	35.3	24.4	27.8	25.2	27.1	4.1

: 1位
 : 2位
 : 3位

【性別】

性別でみると、男女とも「弁護士による「市民法律相談」」の認知度が高く、唯一4割を超えている。また、男性は「税理士による「税務相談」」(33.5%)、女性は「消費生活相談員がお話を聞き、対処方法のアドバイスを行う「消費生活相談」」(30.1%)の認知度が3割を超えている。

【年代別】

年代別にみると、40代以上は「弁護士による「市民法律相談」」の認知度が4割を超えており、さらにこの年代は「税理士による「税務相談」」も3割を超える。30代は「弁護士による「市民法律相談」」が3割台であるが、20代は認知度が2割以上のものはなく、「ひとつも知らない」人が6割以上を占める。

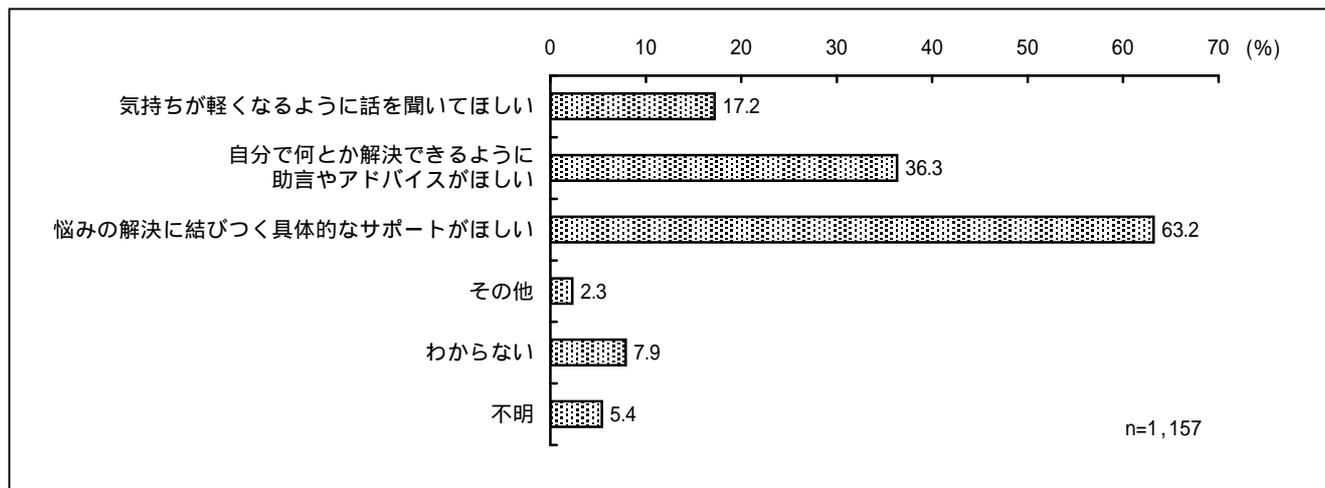
【地区別】

地区別にみると、すべての地区で「弁護士による「市民法律相談」」の認知度が4割台、そして「税理士による「税務相談」」が3割台となっている。また、北上地区は「ひとつも知らない」が、唯一3割を超えている。

8 相談時に『市民相談室』に望むこと

問15 相談をする場合、どのようなことを望みますか。（はいくつでも）

『市民相談室』に「悩みの解決に結びつく具体的なサポート」を望む声が6割以上



『市民相談室』に望むことを聞いたところ、相談時に「悩みの解決に結びつく具体的なサポートがほしい」という声が63.2%で最も高く、次いで「自分で何とか解決できるように助言やアドバイスがほしい」の36.3%などであった。

【属性別】		(%)						
		n	に気持ちを聞いてほしく	自分で何とか解決できる	具体的なサポートがほしい	その他	わからない	不明
全体		1,157	17.2	36.3	63.2	2.3	7.9	5.4
性別	男性	791	14.7	36.4	62.7	2.3	8.6	4.4
	女性	276	23.6	34.8	65.9	2.5	6.5	5.4
年代	20代	128	19.5	32.0	60.2	2.3	13.3	0.8
	30代	153	15.7	34.6	77.8	0.0	5.9	1.3
	40代	173	17.9	29.5	77.5	2.3	5.2	1.2
	50代	203	11.3	34.0	65.0	3.4	7.4	3.4
	60代	245	16.3	39.2	61.6	2.9	6.5	6.9
	70代以上	247	22.7	43.7	46.2	2.4	9.7	13.0
地区	旧市内	348	19.0	39.1	61.5	2.9	6.3	6.0
	北上地区	262	14.9	35.5	64.1	1.5	9.9	4.2
	錦田地区	227	16.3	36.6	62.6	1.8	8.8	5.3
	中郷地区	266	16.5	34.2	67.7	3.4	5.3	4.5

: 1位
 : 2位
 : 3位

【性別】

性別でみると、「悩みの解決に結びつく具体的なサポートがほしい」や「自分で何とか解決できるように助言やアドバイスがほしい」は男女間でそれほど大差はないが、「気持ちが軽くなるように話を聞いてほしい」に関しては女性が23.6%で、男性の14.7%より8.9ポイントも高い。

【年代別】

年代別にみると、「悩みの解決に結びつく具体的なサポートがほしい」は、70代以上を除く年代で6割を超えているが、70代以上では「自分で何とか解決できるように助言やアドバイスがほしい」が46.2%で最も高くなっている。

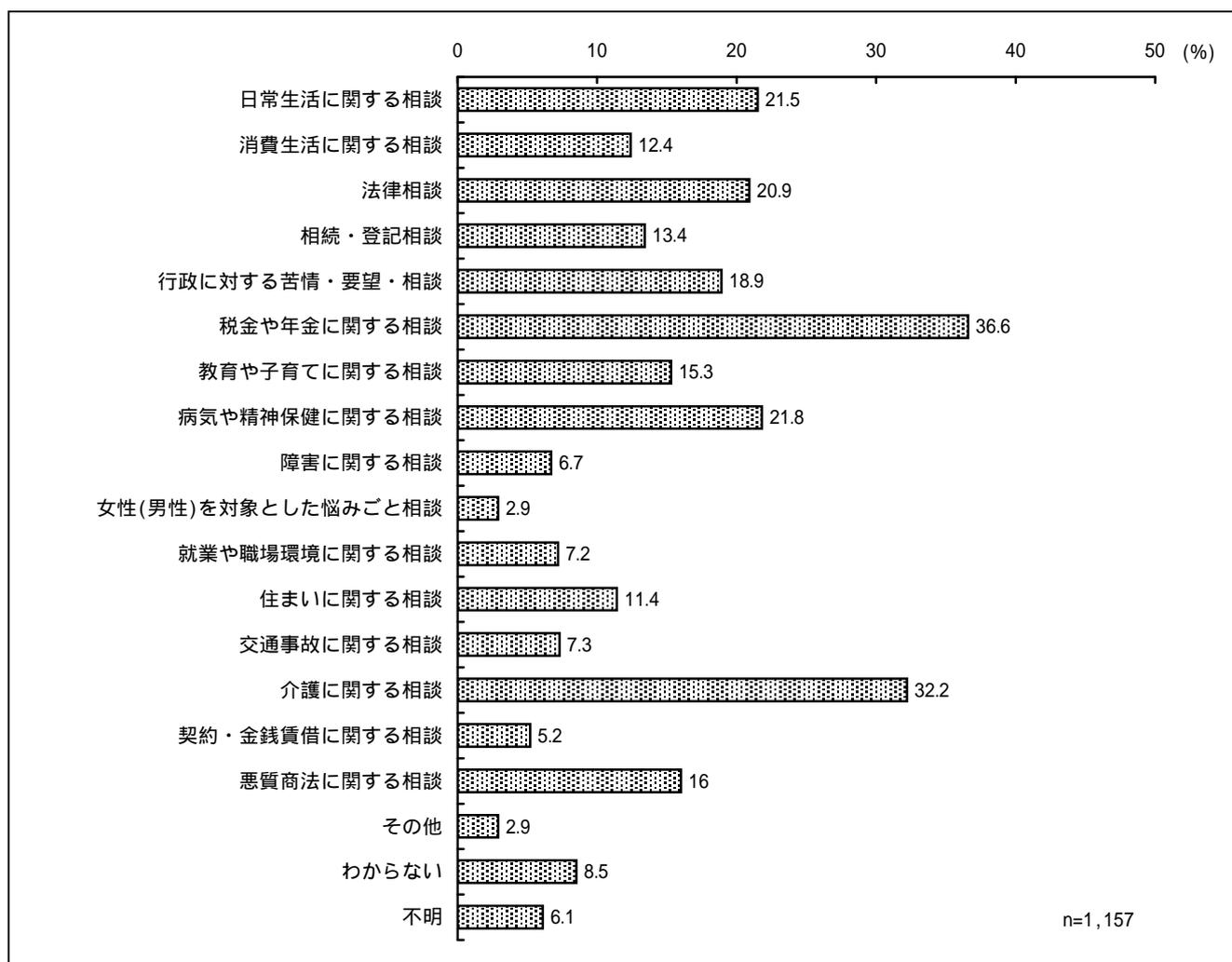
【地区別】

地区別にみると、すべての地区で「悩みの解決に結びつく具体的なサポートがほしい」が6割台、「自分で何とか解決できるように助言やアドバイスがほしい」が3割台、地区による大きな開きはない。

9 『市民相談室』に相談したい内容

問16 今後、どのような相談をしたい(または充実してほしい)と思いますか。
(はいいくつでも)

「税金や年金に関する相談」と「介護に関する相談」が3割以上



今後、『市民相談室』に相談したい内容を聞いたところ、「税金や年金に関する相談」と「介護に関する相談」が3割を超えており、「日常生活に関する相談」「法律相談」「病気や精神保健に関する相談」「行政に対する苦情・要望・相談」が2割前後となっている。

【属性別】 上位5項目

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 (n=1,157)		税金や年金に関する 相談 36.6%	介護に関する相談 32.2%	病気や精神保健に関 する相談 21.8%	日常生活に関する相 談 21.5%	法律相談 20.9%
性別	男性 (n=791)	税金や年金に関する 相談 36.7%	介護に関する相談 32.4%	法律相談 23.0%	病気や精神保健に関 する相談 21.4%	行政に対する苦情・ 要望・相談 21.0%
	女性 (n=276)	税金や年金に関する 相談 36.6%	介護に関する相談 34.1%	教育や子育てに関す る相談 26.4%	病気や精神保健に関 する相談 24.6%	日常生活に関する相 談 23.9%
年代	20代 (n=128)	税金や年金に関する 相談 39.1%	教育や子育てに関す る相談 36.7%	悪質商法に関する相 談 19.5%	日常生活に関する相談、介護に関する相 談 各18.8%	
	30代 (n=153)	教育や子育てに関す る相談 44.4%	税金や年金に関する 相談 36.6%	日常生活に関する相 談 26.1%	病気や精神保健に関 する相談 21.6%	法律相談 20.9%
	40代 (n=173)	税金や年金に関する 相談 42.8%	介護に関する相談 33.5%	法律相談 26.6%	行政に対する苦情・ 要望・相談 22.0%	病気や精神保健に関す る相談、悪質商法に関 する相談 各21.6%
	50代 (n=203)	税金や年金に関する 相談 40.9%	介護に関する相談 31.5%	法律相談、行政に対する苦情・要望・相 談 各23.6%		病気や精神保健に関 する相談 23.2%
	60代 (n=245)	介護に関する相談 43.7%	税金や年金に関する 相談 34.7%	病気や精神保健に関 する相談 23.7%	日常生活に関する相談、法律相談 各 21.2%	
	70代以上 (n=247)	介護に関する相談 38.1%	税金や年金に関する 相談 28.7%	日常生活に関する相 談 24.3%	病気や精神保健に関 する相談 23.1%	法律相談 17.8%
地区	旧市内 (n=348)	介護に関する相談 35.1%	税金や年金に関する 相談 34.8%	日常生活に関する相 談 25.3%	病気や精神保健に関 する相談 25.0%	法律相談 21.3%
	北上地区 (n=262)	介護に関する相談 36.3%	税金や年金に関する 相談 34.7%	行政に対する苦情・要望・相談、病気や 精神保健に関する相談 各20.2%		法律相談 18.3%
	錦田地区 (n=227)	税金や年金に関する 相談 37.0%	介護に関する相談 26.4%	日常生活に関する相談、病気や精神保健 に関する相談 各21.6%		法律相談 21.1%
	中郷地区 (n=266)	税金や年金に関する 相談 41.7%	介護に関する相談 31.2%	日常生活に関する相談、法律相談、行政に対する苦情・要 望・相談 各22.2%		

【性別】

性別でみると、相談内容は男女とも1位は「税金や年金に関する相談」、2位は「介護に関する相談」であり、3割を超えてる。

【年代別】

年代別にみると、20代と40～50代は「税金や年金に関する相談」が4割前後で相談内容の1位、60代以上は「介護に関する相談」が4割前後で1位、30代は「教育や子育てに関する相談」が44.4%で1位となっている。

【地区別】

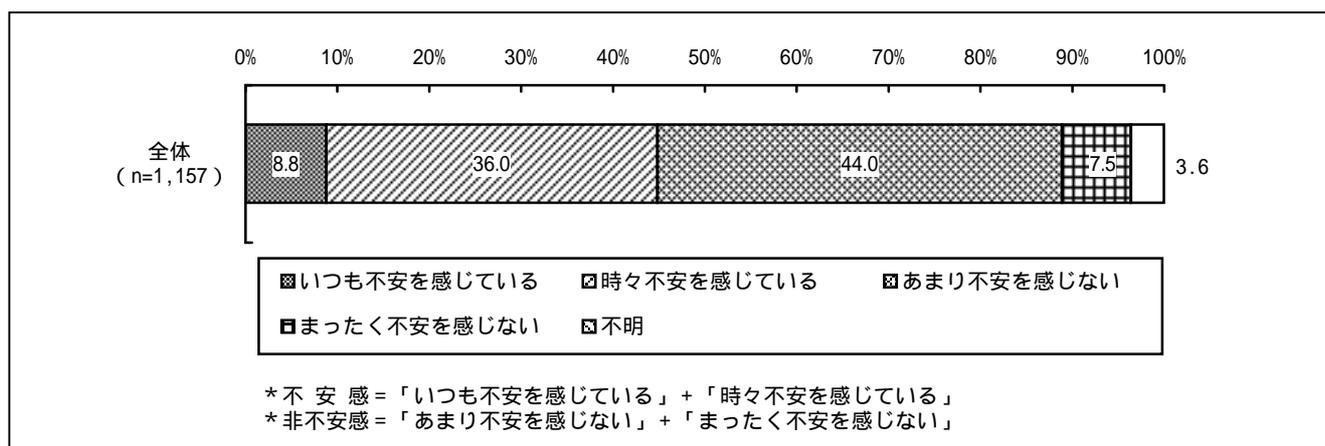
地区別にみると、旧市内と北上地区は「介護に関する相談」が相談内容の1位、錦田地区と中郷地区は「税金や年金に関する相談」が1位となっている。

10 消費者被害（トラブル）に対する不安感

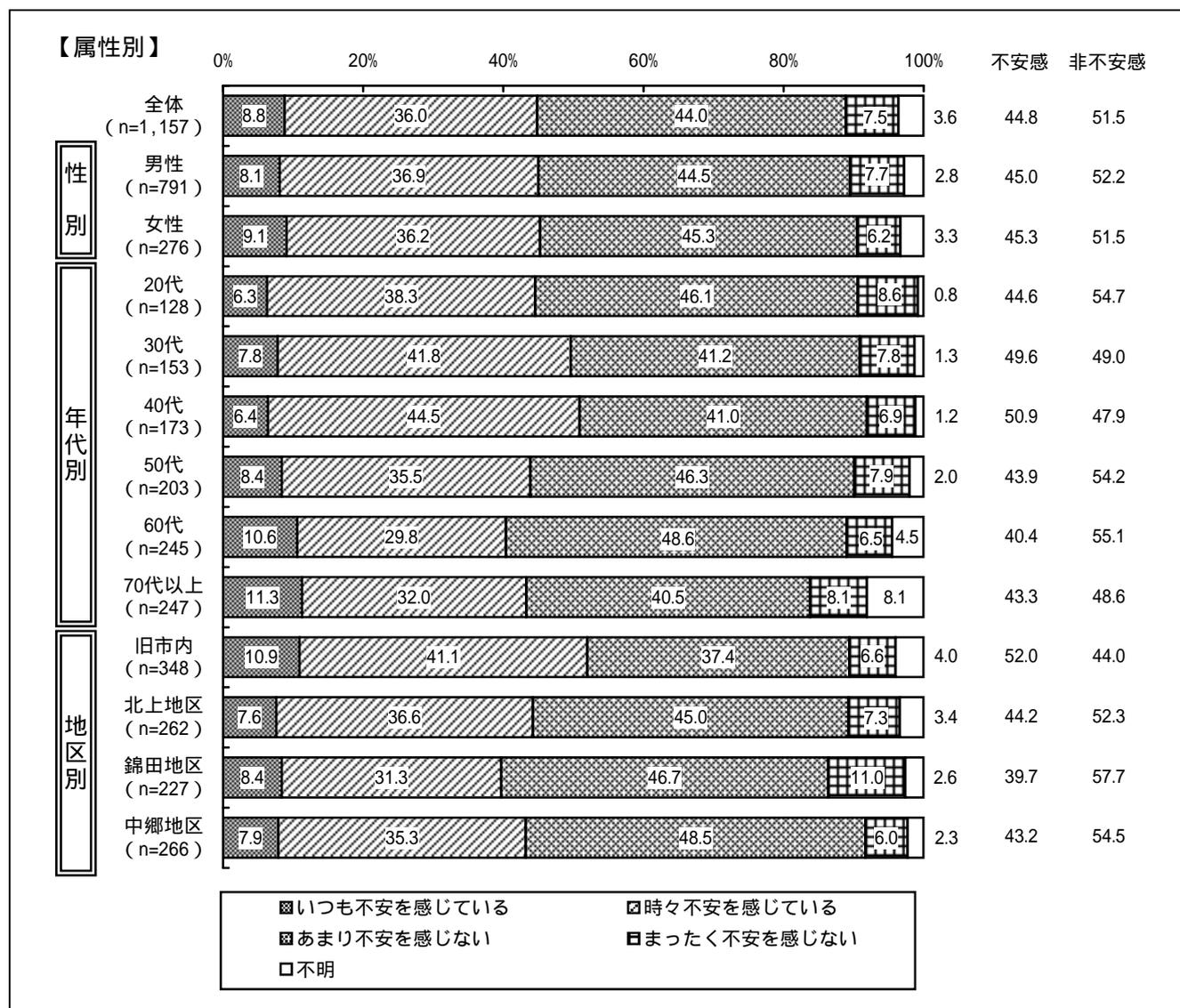
問17 あなたは、消費者被害（トラブル）について、不安を感じることがありますか。

（ は1つ）

消費者被害に不安（いつも + 時々不安を感じている）を感じている人は44.8%



消費者被害（トラブル）に不安を感じたことがあるかを聞いたところ、「いつも不安を感じている」人が8.8%、「時々不安を感じている」人が36.0%であり、44.8%の人が不安感を持っているという結果であった。一方、「あまり不安を感じない」(44.0%)、「まったく不安を感じない」(7.5%)という不安感を感じない人は51.5%であり、不安を感じる人を6.7ポイント上回っている。



【性別】

性別でみると、「いつも不安を感じている」「時々不安を感じている」人は男女間で大差はなく、不安感を感じている人は男性が45.0%、女性が45.3%であった。

【年代別】

年代別にみると、30代と40代で「いつも不安を感じている」「時々不安を感じている」人が5割前後と高めであるが、その他の年代では不安感を感じている人は4割強である。

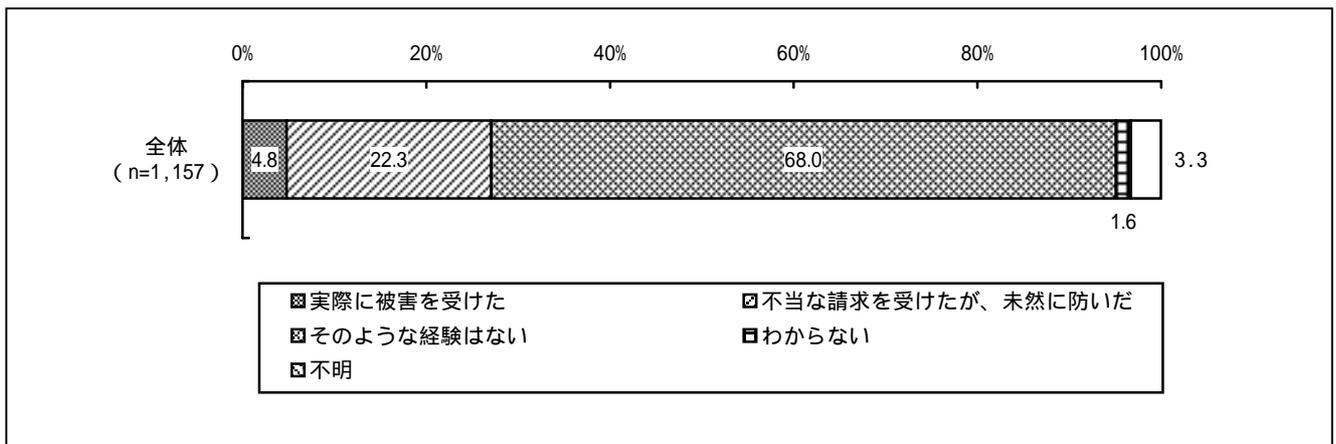
【地区別】

地区別にみると、地区によって不安感を感じている人の割合に開きがあり、旧市内では52.0%と半数を超えているが、錦田地区では4割をわずかに下回っている。

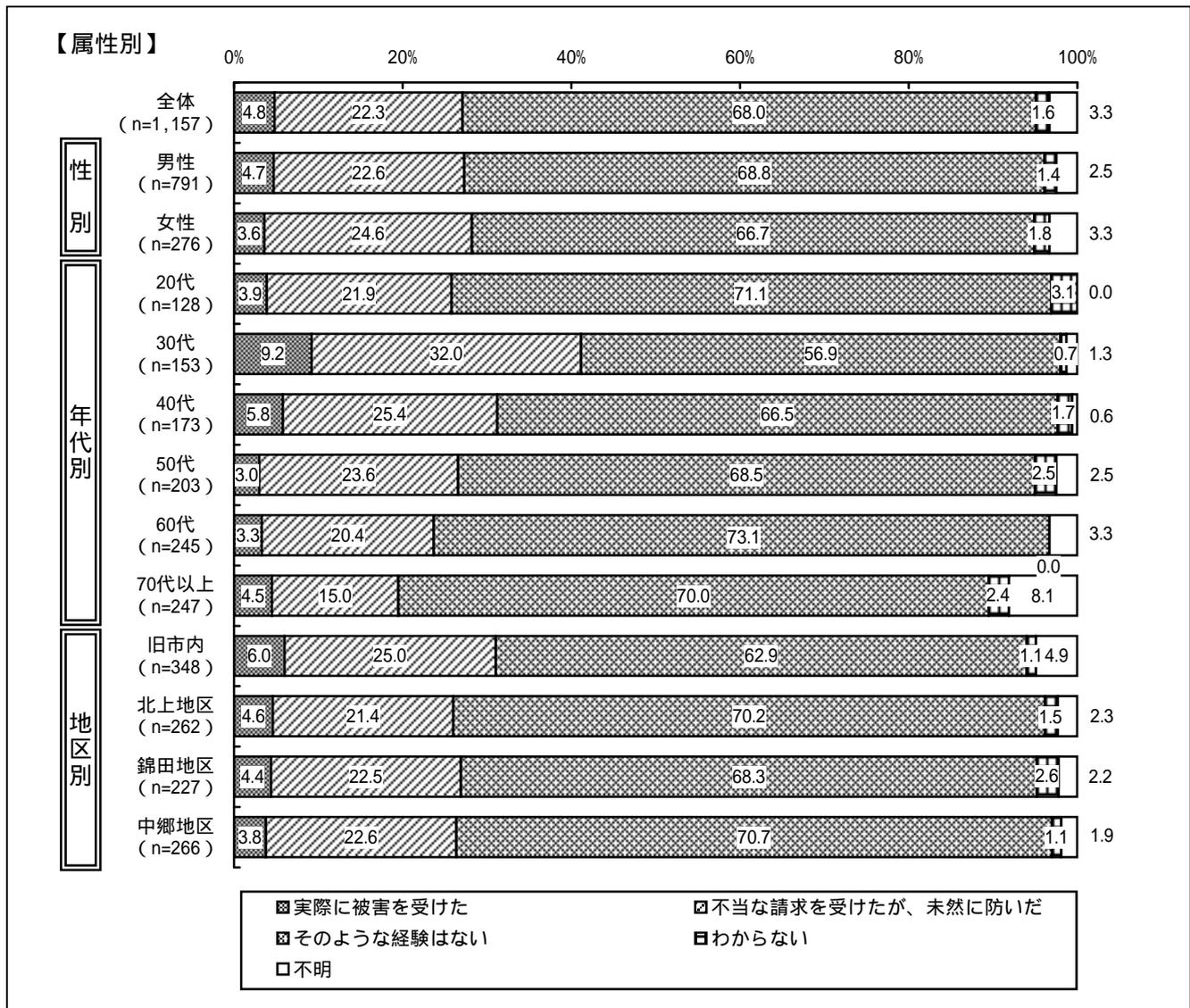
11 悪質商法の被害経験

問18 あなた、または家族が、これまでに悪質商法（架空請求・振り込め詐欺を含む）の被害にあわれた経験はありますか。（ は1つ）

本人または家族が悪質商法で「被害を受けた」という人は4.8%



本人または家族の中で悪質商法の被害を受けたことがあるかを聞いたところ、「実際に被害を受けた」という人が4.8%、「不当な請求を受けたが、未然に防いだ」という人が22.3%、そして「そのような経験はない」という人が68.0%で最も多いという結果であった。



【性別】

性別でみると、悪質商法の「実際に被害を受けた」という人は男性が4.7%、女性が3.6%、そして「不当な請求を受けたが、未然に防いだ」では男性が22.6%、女性が24.6%となっている。

【年代別】

年代別にみると、30代は悪質商法の「実際に被害を受けた」が9.2%、「不当な請求を受けたが、未然に防いだ」が32.0%となっており、他の年代よりも悪質商法に接触する割合が高くなっている。

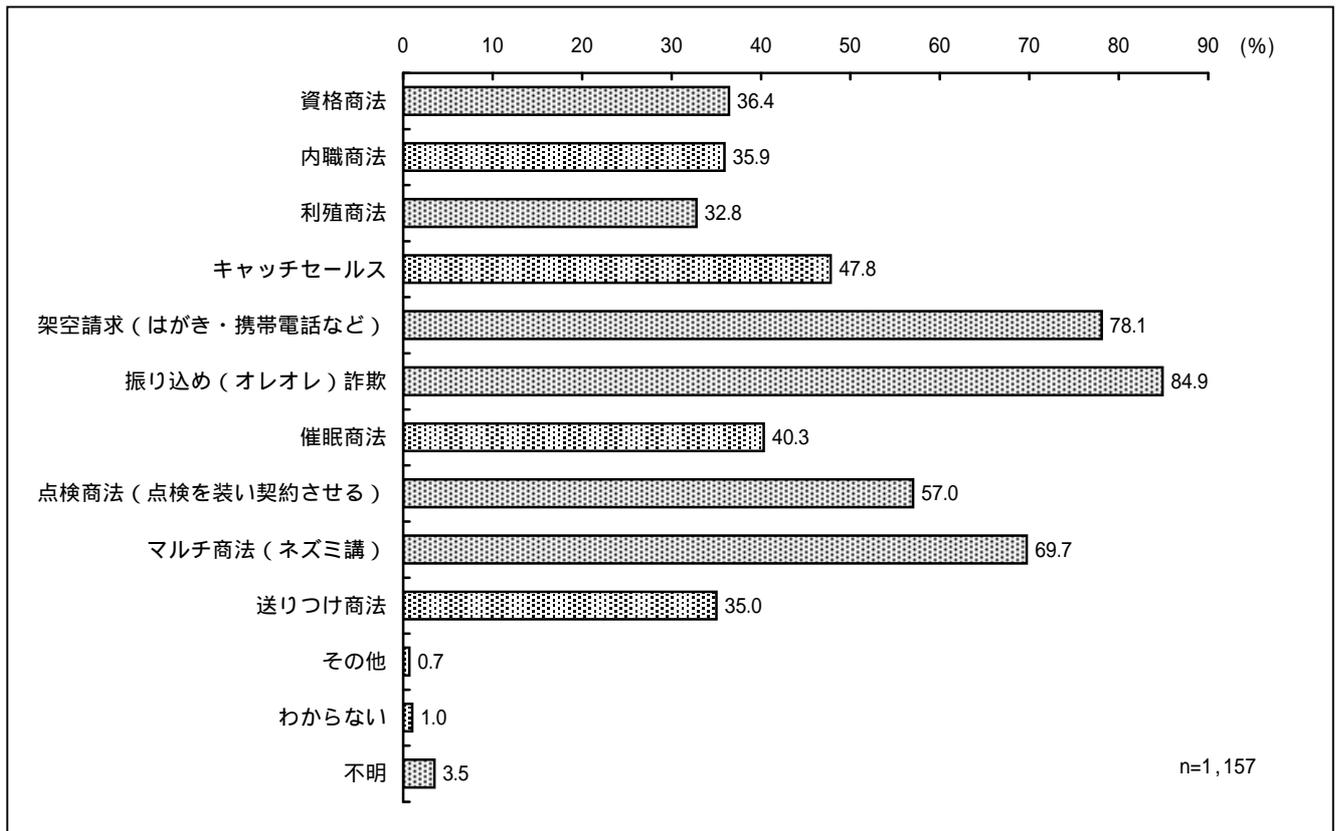
【地区別】

地区別にみると、旧市内が悪質商法の「実際に被害を受けた」が6.0%、「不当な請求を受けたが、未然に防いだ」が25.0%、ともに他の地区より高くなっている。

12 悪質商法で知っているもの

問19 次の悪質商法といわれるものの中で、知っているものはありますか。(はいいくつでも)

「架空請求」と「振り込め(オレオレ)詐欺」の認知度が7割以上



悪質商法といわれるもので、知っているものを聞いたところ、「振り込め(オレオレ)詐欺」が84.9%で最も高く、次いで「架空請求(はがき・携帯電話など)」の78.1%、「マルチ商法(ネズミ講)」の69.7%などとなっている。具体的に挙げた悪質商法すべての認知度が3割を上回るという結果であった。

【属性別】		(%)														
		n	資格商法	内職商法	利殖商法	キャッチセールス	架空請求(はがき・携帯電話など)	詐欺(振り込み(オレオレ))	催眠商法	契約させ(点検を装い)	点検商法(ネズミ講)	マルチ商法(ネズミ)	送りつけ商法	その他	わからない	不明
全体		1,157	36.4	35.9	32.8	47.8	78.1	84.9	40.3	57.0	69.7	35.0	0.7	1.0	3.5	
性別	男性	791	40.1	35.3	37.3	48.4	79.1	85.5	41.1	59.8	71.9	34.1	0.9	1.1	2.4	
	女性	276	28.6	38.8	18.8	50.4	78.3	88.0	41.7	53.6	69.6	39.5	0.0	0.7	3.6	
年代	20代	128	28.1	28.9	6.3	71.9	89.1	94.5	45.3	54.7	78.9	40.6	0.0	1.6	0.0	
	30代	153	43.1	41.8	13.7	66.0	88.2	91.5	45.1	65.4	81.0	43.1	1.3	0.0	1.3	
	40代	173	43.9	42.8	28.9	66.5	86.7	89.6	49.7	65.9	79.8	41.0	0.6	0.0	0.6	
	50代	203	42.9	34.0	37.4	49.3	81.3	87.2	45.3	58.6	78.3	37.4	0.5	0.5	2.5	
	60代	245	37.6	40.0	44.5	34.7	77.1	85.7	35.9	54.7	69.4	29.8	0.4	1.2	3.3	
	70代以上	247	25.1	28.7	46.2	23.5	59.1	70.4	29.1	48.2	45.3	26.3	0.4	2.4	9.3	
地区	旧市内	348	33.3	32.5	30.2	44.5	76.4	84.8	41.7	52.9	64.9	39.1	0.6	1.1	3.7	
	北上地区	262	40.1	41.2	34.7	50.8	83.2	84.0	43.9	58.4	73.3	32.8	0.4	0.0	3.1	
	錦田地区	227	33.9	40.1	39.6	47.6	74.9	85.9	37.9	60.8	69.6	33.5	0.9	2.2	3.1	
	中郷地区	266	40.6	34.2	30.8	49.6	80.8	86.8	39.8	61.7	74.1	33.8	0.8	0.8	2.3	

: 1位
 : 2位
 : 3位

【性別】

性別でみると、男女ともに「振り込み(オレオレ)詐欺」「架空請求(はがき・携帯電話など)」「マルチ商法(ネズミ講)」の認知度は7～9割前後と高い。

【年代別】

年代別にみると、「振り込み(オレオレ)詐欺」は20～60代、「架空請求(はがき・携帯電話など)」は20～50代の認知度が80%以上と高い。また、20～50代は「マルチ商法(ネズミ講)」の認知度も80%前後であり、この3つの悪質商法は20～50代の認知度が特に高い。

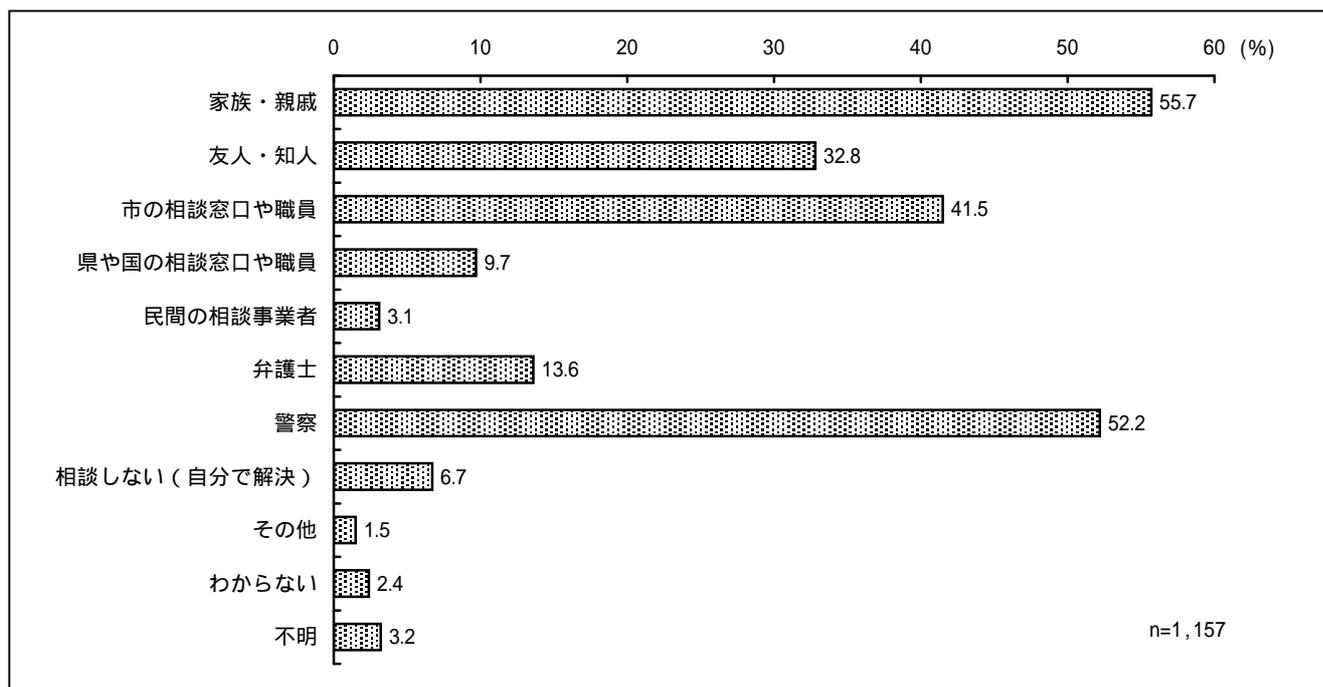
【地区別】

地区別にみると、「振り込み(オレオレ)詐欺」はすべての地区で認知度が80%以上、そして、「架空請求(はがき・携帯電話など)」では北上地区と中郷地区の認知度が8割を超える。

13 悪質商法にあったときの相談先

問20 悪質商法にあったとき、誰に相談しますか。（はいくつでも）

相談先は「家族・親戚」が55.7%、「警察」が52.2%



悪質商法にあったときの相談先を聞いたところ、「家族・親戚」が55.7%で最も高く、次いで「警察」の52.2%、「市の相談窓口や職員」の41.5%などとなっている。問7で悩みや不安に対しての相談先では「市の相談窓口や職員」は5.7%と低いですが、悪質商法に関する相談では4割以上の方が市も相談先と考えている。

【属性別】		(%)											
		n	家族・親戚	友人・知人	市の相談窓口や職員	県や国の相談窓口や職員	民間の相談事業者	弁護士	警察	決相 相談 しない (自分 で解)	その他	わからない	不明
全体		1,157	55.7	32.8	41.5	9.7	3.1	13.6	52.2	6.7	1.5	2.4	3.2
性別	男性	791	50.4	32.6	41.6	10.9	2.3	14.9	53.0	8.3	1.9	2.9	2.7
	女性	276	75.0	34.4	42.4	7.2	4.7	9.4	50.0	3.6	0.7	1.1	2.2
年代	20代	128	75.8	38.3	25.8	6.3	7.8	3.9	44.5	4.7	0.0	3.1	0.0
	30代	153	73.9	56.9	34.6	10.5	3.3	15.7	51.0	5.2	2.0	0.7	2.6
	40代	173	63.0	38.2	35.3	10.4	4.6	13.3	47.4	6.9	3.5	1.7	0.6
	50代	203	44.8	31.0	42.4	12.8	1.5	15.3	48.8	7.9	1.5	3.4	2.0
	60代	245	48.2	24.9	49.0	8.6	1.2	16.7	57.6	5.3	0.0	2.9	3.3
	70代以上	247	45.7	20.6	49.4	9.3	2.8	13.4	58.7	8.9	2.0	2.4	7.7
地区	旧市内	348	53.2	33.0	40.5	6.9	3.4	12.1	47.7	7.8	1.4	3.7	3.7
	北上地区	262	59.9	35.1	46.9	8.8	2.3	11.5	56.9	6.9	0.8	0.8	3.1
	錦田地区	227	52.4	29.5	41.0	13.7	3.1	16.3	53.3	5.7	2.2	2.6	1.8
	中郷地区	266	58.3	34.2	40.2	10.9	3.8	16.2	54.1	7.1	1.1	1.9	3.0

: 1位
 : 2位
 : 3位

【性別】

性別でみると、相談先の1位は男性が「警察」の53.0%、女性が「家族・親戚」の75.0%であり、男性は「家族・親戚」も5割を超える。「市の相談窓口や職員」に対しては男女ともに4割を超え、相談先の3位となっている。

【年代別】

年代別にみると、20～40代は「家族・親戚」が6割を超えて相談先の1位、50代以上は「警察」が5～6割前後で1位となっている。「市の相談窓口や職員」に対しては、50代以上が4割以上と高い。

【地区別】

地区別にみると、すべての地区で「家族・親戚」が5割を超えているが、錦田地区は「警察」が53.3%で、「家族・親戚」の52.4%を僅かに上回る。「市の相談窓口や職員」に対しては、すべての地区で4割以上であり、地区による開きは見られない。